

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.109 (2025.4.25)

令和7年度スローガン
新たなるステージへの挑戦
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄



いよいよ63期がスタートしました。今年度は残念ながら新卒者の採用はできませんでしたが、62期期中での中途採用は4名でした。改めてその皆さんにも和賀組へ仲間入りして頂き感謝申し上げます。お陰様で62期は受注環境にも恵まれ計画通りの業績を達成することができました。これも社員・協力会社の皆様の頑張りによるものであり、この勢いで今期も邁進して参りたいと考えております。

さて今年度は湯沢駅前複合施設の着工というきわめて重要なスタートの年となりました。課題は多くありますが湯沢市初のPPP・PFI事業です。令和8年秋の完成オープンを目指して、湯沢市およびコンソーシアム8社の総力を挙げて取り組んで参ります。湯沢市内のみならず県内外からも注目を集めている事業であり、完成のあかつきには多くの皆様に愛される施設になるように頑張参ります。また東北中央自動車道横堀道路が年内に供用開始となることとなっており、山形・福島・首都圏がまた一歩近くなります。当社関連の土木工事としては鉄建建設様の秋田道黒沢4車線化道路、昨年から本格化したかたつむり山地熱発電所の日鉄パイプエンジニアリング・飛鳥建設様の基礎工事などが継続しており、建築工事では湯沢高校、駅前施設、成瀬発電所、山葵沢地熱発電所を始め一般住宅も数棟あり前年に引き続きスタートダッシュから忙しい年度となっております。引き続き安全には最大限の注意を払い良い一年にしたいと思いますので宜しくお願い致します。

湯沢駅前複合施設起工式



3/21 関係者約40名が出席して安全祈願祭・起工式が執り行われました。佐藤一夫市長は「中心市街地の活性化は市の大きな課題の一つ。将来にわたって市民から愛着を持たれる施設にしたい」とあいさつ。私は「担当の市職員、同様の施設運営に実績のある民間事業所と協議を重ねてきた。市民はもとより県南各地、県外からも多くの人が訪れる施設となるよう取り組んでいく」と挨拶しました。

の活性化は市の大きな課題の一つ。将来にわたって市民から愛着を持たれる施設にしたい」とあいさつ。私は「担当の市職員、同様の施設運営に実績のある民間事業所と協議を重ねてきた。市民はもとより県南各地、県外からも多くの人が訪れる施設となるよう取り組んでいく」と挨拶しました。

秋田指月竣工式



4/9 第5工場の竣工式が執り行われました。足達社長は「EV用コンデンサーの主力工場として長期的な戦略で体制を構築すると挨拶されました。工事に携わった皆さん、長期間にわたり本当にご苦労様でした。」

八代目佐藤養助襲名式



4/18 湯沢グランドホテルにおいて襲名を祝う会が開催されました。養助氏は「稲庭というブランドを大事にし、創業から百六十五年代々受け継がれし名跡をこの身に背負い改めて一子相伝の技と心の継承者として次世代への伝承に生涯を捧げる覚悟です」と挨拶しました。私は乾杯の挨拶で、「清く正しく美しく、八面六臂の活躍で佐藤養助商店・ようすけホールディングスの更なる発展を期待します」としました。